

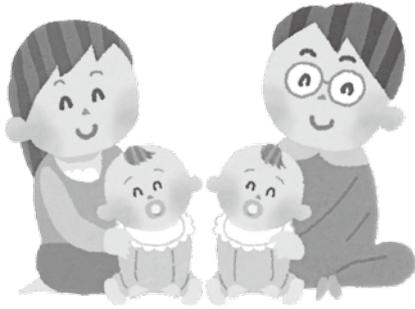


飛騨市ホームページでもお知らせしています
 飛騨市ホームページ <http://www.city.hida.gifu.jp/>
 携帯サイト <http://www.city.hida.gifu.jp/mobile/>



5月31日現在(敬称略)

お誕生



お名前	住所	保護者
〔古川町〕 岡田 彩希	高野	祥志・久美子
森本 富喜	殿町	創・おりえ
柚原 恵夢	袈裟丸	直文・智恵
原田 蓮生	上気多	義兼・奈津季
清水 結衣	下気多	吉崇・香織
山下誠志郎	栄一丁目	誠・薫
森下 慧	本町	智史・晃代
〔宮川町〕 後藤 六花	大無雁	聖士・景子
〔神岡町〕 丸亀悠之介	殿(サンハイツ殿)	淳吾・由香里
有馬 楓花	館野町(弥生2)	透・沙也加
田家 颯希	江馬町(沖野鉄筋住宅)	祐雄・恵

お悔み

お名前	住所	年齢
〔古川町〕 岩門 功	若宮三丁目	79
砂田 志津	信包	94
洞口 勝	上町	80
中村 ツズ	式之町	99
小林 正江	本町	90
森下 義一	上町	85
岡村 誼	袈裟丸	90
尾賀千代子	金森町	88
下田久太郎	数河	94
〔河合町〕 中西 フジ	角川	89
政井 勉	角川	68
〔神岡町〕 柿本 久江	野首(野首)	90
溝口 たつ	小萱(上小萱)	97
小森 たか	東雲(西野町4)	80
坂本シヨウ	東町(中園2)	95
柏木美智恵	船津(玉川2)	94
田中 春雄	東漆山(東漆山1)	81
光家 静子	船津(上今1)	91
牛丸 アヤ	船津(堀川3)	93
谷口 外憲	西(西5)	67
出永 米子	江馬町(江馬5)	89
岡田 くに	麻生野(奥麻生野)	74

ご寄付

次の方々から温かいご寄付をいただきました。
 〔ふるさと応援寄付金〕(4月1日~4月30日)

平田 昭浩	様(岐阜県)	金 三万円
田中 悟	様(兵庫県)	金 十万円
安田 雅章	様(滋賀県)	金 十万円
関谷 久雄	様(千葉県)	金 五万円
西嶋 一晃	様(京都府)	金 一万円
北村 伸	様(新潟県)	金 十万円
北島 克己	様(神奈川県)	金 二万円
横山 善司	様(東京都)	金 十万円
古橋 智保	様(神奈川県)	金 一万円
大島ひろみ	様(東京都)	金 五万一千円
久米 将央	様(東京都)	金 一万円
竹内 和久	様(神奈川県)	金 一万円
長田 信夫	様(神奈川県)	金 三万円
丹羽 憲司	様(岐阜県)	金 一万円



交通安全俳句

長閑さに ベルト忘るな 田舎道

飛騨神岡高校2年 田口 真弥さん

「解釈」

自然が多いこの地方。田畑の中を悠然と走る車が浮かびます。しかし、交通量が閑散なことでも気が緩み、思わぬ事故が起きるものです。シートベルトを必ずしめ、気を引き締めて周りをよく見て運転して下さい。

飛騨警察署 交通課長

古川西小児童が摘花体験 リングを通してふるさとを学ぶ

5月12日（木） 黒内果樹園

古川西小学校の3年生児童51人は5月12日、古川町の黒内果樹園でリンゴの摘花作業を体験しました。

これは同校が行うふるさと体験学習の一環で、収穫までの中で間引きや摘果などの作業を体験します。

今年度1回目となったこの日は、児童が6グループに分かれ、それぞれのグループで「陽光」という品種の木を1本ずつ摘花作業を行いました。

指導に当たった花岡達博さんは「児童は楽しみながら作業してくれた。秋の収穫まで楽しみながら農業を体験し、学んでほしい」と話していました。



摘花作業を行う児童

4団体が清掃奉仕 頃の感謝を込めて

5月7日（土） かわいスキー場

かわいスキージュニアや古川スキージュニアなど4団体は5月7日、河合町の飛騨かわいスキー場で清掃活動を行いました。

4団体は練習等で利用するスキー場に日頃の感謝を込めて、9年前から毎春に清掃活動を実施しています。

この日は、小学生の団員や保護者、都竹市長ら114人が参加し、ゲレンデや駐車場などで空き缶やタバコの吸い殻などのゴミ計約27kgを拾い集めました。



市長も参加し、子どもたちとゴミを拾いました

安全・安心への意識を高める 飛騨警察署の指導で交通安全教室

5月13日（金） 増島保育園、16日（月） 古川西小

飛騨警察署は市内の保育園や小学校で交通安全教室を開きました。

5月13日には増島保育園に同署の警察官3人が訪れ、同園の全園児を対象に交通安全教室を行いました。教室では交通ルールについてわかりやすく説明したアニメを見た後、園庭に設置された信号付の横断歩道で、正しい渡り方などを確認しました。園児らは警察官の指導の下、渡る前に左右をしっかりと確認し、手を上げて横断歩道を渡るなど、交通安全について学びました。



手を上げて横断歩道を渡る練習をする園児

サッカー教室「おじゃましマッスル」 FC岐阜コーチが園児に指導

5月12日（木） 旭保育園

FC岐阜の地域貢献活動「おじゃましマッスル」が旭保育園で行われ、FC岐阜のコーチ2人が指導し園児らとサッカーでふれあいました。

この教室は、サッカー競技の普及や県内の子どもたちとの交流を目的として行われ、今年で7年目を迎えます。

園児らは園庭で体操やボールを使ったウォーミングアップを行った後、ミニゲームなどを楽しみました。園児たちは夢中でボールを追いかけ、全員でサッカーを楽しんでいました。



サッカー教室の様子

みんなの気持ちを被災地へ

5月16日（月） ハートピア古川、神岡振興事務所

熊本地震の復興に役立ててもらおうと、市内の小中学生が募金活動を行い、集めた義援金を市に届けました。
古川小学校では、児童運営委員会が校内で呼びかけを行い、15万6655円を集めました。この日は同委員会の4人がハートピア古川を訪れ、職員に募金を手渡しました。
神岡中学校では、生徒会が中心となって、生徒や保護者、教職員にも協力を呼びかけました。集めた12万485円は生徒会長ら5人が神岡振興事務所に届けました。



募金は日赤を通じて被災地へと送られます

公共交通機関で受診をPR 保特定健診の受診率向上へ

5月13日（金） JR飛騨古川駅前

市は5月13日、JR飛騨古川駅で国民健康保険特定健診の受診啓発セレモニーを行いました。
同健診は40歳～74歳の方が対象です。市の受診率は60%以上で、平成26年度には同規模自治体の中で全国トップでしたが、平成27年度には全国2位となる見込みです。受診率を高め、生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康寿命の延伸を目指すと公共交通を使用した広報活動を行います。
市長は「今年の目標は全国トップ奪還。市民の皆さんがあんぎに暮らせるよう、受診の呼びかけなどをしていきたい」と話していました。



セレモニーを行った市長と保健師ら

飛騨市地域おこし協力隊委嘱状交付式 わらび粉で新たな活力を

5月16日（月） 市長室

飛騨市地域おこし協力隊として地域振興に取り組む前原融（とおる）さんへの委嘱状の交付が5月16日、市長室で行われ、小倉副市長から前原さんに委嘱状が交付されました。
群馬県出身の前原さんは、4月から神岡町の山之村地区に移住し、同地区に自生するワラビの地下茎からわらび粉を生産しています。「飛騨のわらび粉は本当に魅力がある。販売にも手応えを感じている」と話す前原さんは、わらび粉の生産・販売を行いながら、トマトやホウレンソウ、寒干し大根の生産農家の支援も行い、地域の活力につなげます。

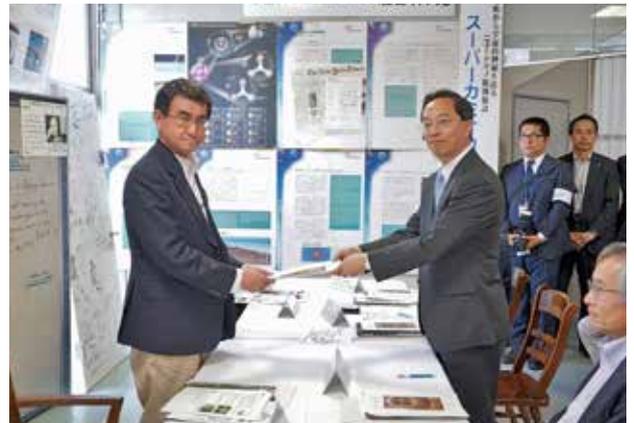


市長室で委嘱交付を受けた前原さん（左）

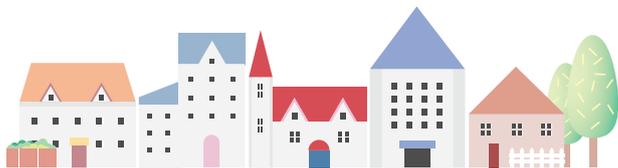
河野行革大臣がスーパーカミオカンデを視察 宇宙科学最先端のまちづくりへ前進

5月15日（日） 神岡町

河野太郎行政改革担当大臣が5月15日、神岡町のスーパーカミオカンデや大型低温重力波望遠鏡（KAGRA）などの視察を行いました。
これは政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、国の施設の開放が決定されたことを受け、行われたものです。この日は、都竹市長らも参加し、河野大臣とともに、施設の視察を行いました。
視察の中では、要望書の提出も行われ、地元である神岡町の設備の改善などについての要望書を都竹市長が河野大臣に手渡しました。



河野大臣（左）に要望書を手渡す都竹市長



春 飛騨流葉トレッキング の旬を満喫

5月28日（土） 神岡町伏方

新緑の流葉山を散策し、山菜採りを楽しむ「第14回飛騨流葉トレッキング」が5月28日、神岡町の流葉山周辺で行われました。

さわやかな新緑の中、森林浴や山菜採りを楽しんでもらおうと、地元住民でつくる「飛騨流葉数河カントリーウオーク運営委員会」が開き、今年で14回目。

当日は、市内外から32人が参加し、宮川町のタンナカ高原から流葉山山頂を経て、出発地点の流葉温泉に戻る8kmの「雲の上水源の森コース」を歩きました。

参加者は新緑が鮮やかなブナの原生林をゆっくり散策し、タケノコやワラビなどの山菜採りも満喫しました。



新緑の中トレッキングを楽しむ参加者

セ 地域生活支援に関する協定書調印式 ブン-イレブンと地域の見守りを

5月19日（木） 市役所

市内に初出店した「セブン-イレブン飛騨古川町是重店」と市は宅配サービス時に情報提供などを行う地域生活支援に関する協定を締結しました。

この日市役所では調印式が行われ、同店オーナーの稲垣由希子さんと市長が山中和紙で作った協定書に署名押印しました。

稲垣さんは「地域とのふれあいを大切に店舗作りを行っていきたい」と話し、市長は「地域貢献型のコンビニとして、良いモデルとなり、波及してほしい」と話していました。



協定書を手にする都竹市長と稲垣さん（左から2人目）

薬 飛騨市薬草活用勉強会 草は飛騨市の宝物

5月28日（土）・30日（月） 古川町内

薬草を活用した健康づくりとまちづくりについて学ぶ飛騨市薬草活用勉強会が5月28日と30日、市役所などで開かれました。

この勉強会は、市とNPO法人薬草で飛騨を元気にする会（北平嗣二会長）が市民の皆さんに「薬草」という市の貴重な地域資源について学んでもらおうと毎年開催しています。

28日は、崇城大学薬学部（熊本市）の村上光太郎教授による基調講演が行われ、夜には薬草を使った料理交流会が行われました。

30日は、飛騨地域に自生する薬草について学ぶワークショップやアルプス薬品工業（株）の生薬標室を見学するなど植物の薬効や活用方法などについて学びました。



村上先生のお話を熱心に聞く参加者

藤 復活!安望藤園 藤まつり の花と春を楽しむ

5月22日（日） 安望藤園（気多公園）

市と飛騨信用組合、古川町商工会は5月22日、古川町の気多公園にある安望藤園で藤まつりを開きました。

藤まつりは、一昨年の雪害で倒壊した藤園の藤棚が庭園と併せて再整備され、その安望藤園の復活を祝い行われました。

今季は暖冬などにより開花が早く、藤棚の藤は終盤となっていました。晴天に恵まれ多くの市民で賑わいました。

会場では、地元特産のパザールや和太鼓、バンド演奏、吉城高校茶道部のお茶会なども行われました。

また、撮影会も行われ、カメラマンたちは藤棚と着物モデルのコントラストを写真に納めていました。



藤棚の下でポーズをする和服モデル